

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	異文化理解Ⅱ		（ NKT13K ）
講義名（コード）	異文化理解Ⅱ B		（ NKT13KB ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	岩間 宏樹	時間数	30
成績評価教員	岩間 宏樹	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	グローバル化が進む社会の中で、グローバルな環境で働く際に必要となる異文化理解力を深め、国際人としてふさわしい人材になる事を目指す。人前で国の発表を繰り返す事でプレゼンテーションスキルが身につく。
全体の内容と概要	世界の国の文化や歴史を学び、自国のものと比べ違いを理解する。グループワーク、ディスカッション、発表などを行う。
授業時間外の学修	日頃からいろいろな国の学生たちと交流を持つ。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	異文化を理解する目的を改めて知る	それぞれの学科の学習目標を提示し、異文化を理解することの必要性、異文化理解できていない場合どんなことがおきるかなども含めて学習する
2	異文化摩擦について理解できる	異文化摩擦の例を示したり、学生間で異文化摩擦の体験などもシェアしながら異文化摩擦とはということについて学習していく。
3	自分をふりかえることで、コミュニケーションがとりやすくなる方法を知る	グループを作りジョハリの窓、学習スタイル、対立管理スタイル、異文化対応力について自分を数値的に理解する。
4	非言語コミュニケーションやパラ言語について理解し、考察する。	アイコンタクトの意味と受け取り方、表情が与える誤解、ジェスチャー、パーソナルスペース、時間などについてクラス内で意見を交換する。
5	様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる	学生を国ごとのグループに分け、その国の催事について発表をするための準備をする
6	様々な国での催事を知ることによってその国の文化を理解することができる	催事についての発表
7	様々な国の生活についてわかるようになる	様々な国の人々の生活をビデオでみる。（家、街中の様子、仕事、学校の様子、休日の過ごし方など）各自興味がある国について調べてまとめる。
8	様々な国の生活についてわかるようになる	クラスメートに知ってもらいたい自分の国での生活の様子を調べてまとめる。
9	様々な国の生活についてわかるようになる	自国の生活について国別に分かれて発表する
10	世界の衣食住の歴史について知ることができる	日本の食文化の歴史の紹介と世界の様々な国の食についてビデオで見て、自分の国と比べてみる
11	世界の衣食住の歴史について知ることができる	自国の衣食住の歴史について調べ、まとめる
12	世界の衣食住の歴史について知ることができる	衣食住発表準備
13	まとめと解説	期末テスト（衣食住の発表）
14	まとめと解説	期末テスト（衣食住の発表）
15	まとめと解説	今までの授業を通じてのまとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	